

平成25年3月1日
東北支所

平成24年度「消費生活展」共催参加報告

1. 「消費生活展」の概要

これまで宮城県消費生活センター、宮城県金融広報委員会及びN I T Eの三機関共催で「消費生活展」を実施してきたが、昨年度は東日本大震災の影響もあり開催を中止した。

昨今、商品や販売方法の多様化・複雑化に加え、東日本大震災以降、消費者を巡る環境は急速に変化し、広範囲にわたり様々な消費者問題が多数発生しており、特に、震災からの復興において、消費者の安全・安心は新しいステージを迎えつつあり、国・地方自治体及び各関係機関が互いに連携強化を図りながら消費者に対してより一層の啓発や情報提供を図っていくことが求められている。

このような中、若者から高齢者まで安全・安心に暮らせる社会をめざし、自ら考えて行動する消費者を支援するために、消費生活展を開催して必要な情報の提供を行うことにより、消費生活に関する知識の普及及び啓発に資することを目的に、今年度のテーマを「安全・安心いま新たなステージへ」と題して4日間開催した。

今年は、悪質商法・多重債務・振り込め詐欺・製品事故など多様な内容で、各分野のDVD（ビデオ）上映、パネル展示や、パンフレット・リーフレットなどの配布が行われた。

(1) 消費生活展開催日時：2013年2月26日（火）～3月1日（金） 10:00～18:00

なお、最終日は16:00まで

全体総来場者数： 839人

主催：宮城県消費生活センター

共催：宮城県金融広報委員会・N I T E 東北支所

会場：東北電力グリーンプラザ アカホール（仙台市青葉区一番町3-7-1 電力ビル1階）

2. N I T E 広報活動

(1) 出展ゾーン及び展示内容

展示場所は会場の入り口付近の見やすい場所に、N I T Eがこれまで収集してきた事故品の中で最近話題の事故品を中心に展示（4品目）し、その内容を紹介したパネル（A0版）を4枚展示した。また、身・守りハンドブックなどの配布を実施した。

- ・配布資料：身・守りハンドブック、社告・リコールのリーフレット、季節別事故のリーフレット（冬・春）など

(2) 来訪者について

来訪者には、N I T E職員が一人一人に丁寧かつ分かり易くN I T Eの事故情報収集業務と展示事故品の原因などの説明を行った。

N I T Eブースの風景を以下に示す。



写真1 N I T Eブース風景

写真2 パネル鑑賞風景

写真3 職員の説明風景

3. まとめ

当消費生活展は毎年行われており、今年は「安全・安心いま新たなステージへ」と題して、「あなたのまわりの製品事故」について4日間にわたってDVD（ビデオ）上映、事故品、パネル展示や、パンフレット・リーフレットなどの配布を行った。

展示にあたり、高校進学による環境変化、大学・専門学校進学や新社会人による独り暮らしを想定し、自転車車輪の腰砕け（ポテトチップ現象）による転倒、おしゃれ用カラーコンタクトレンズ使用による眼障害、ヘアドライヤー電気コードの断線による火花、電気こんろに体や荷物が触れて点火など身近な話題を考慮してN I T Eスクエアなどに展示されている事故品を展示し、来訪者に事故調査の趣旨や展示品の説明などを行った。N I T Eの説明に対して、その存在や事故情報収集制度を知らなかった来訪者がまだまだ多かったが、事故品への感心は高く、かなりの反響が得られた。参加者の意見としては「展示品の説明を聞いて、身近な製品での事故について改めて注意したい。」との声が多く、今回の参加によりN I T E及び事故調査への期待がさらに高まったものと思われる。

なお、仙台市立福室小学校5年生がミニ修学旅行で会場を訪れ、職員の説明を熱心に聞いていた。

以上